

2025年1月12日（日）

1月12日（日）14時30分より多摩川緑地（押立地区）で、押立文化センターのどんど焼き行事の中でおはなし会を開催しました。どんど焼き会場に作られた塞の神の中で囲炉裏を囲んで、冬のおはなしを3つ語りました。



おはなしのろうそくをつけたあと、府中に伝わる昔話「鼻どり地藏」の素話が始まりました。是政の西藏院に伝わる不思議なおはなしを、子ども達はよく聞いていました。

次は、日本の昔話「ねずみのすもう」のおはなしです。おじいさんたちがこさえてくれた餅を食べてすもうをとるねずみたち。そのゆかいな様子が子ども達にもよく伝わって、楽しそうに聞いていました。餅が出てくるおはなしなので手遊びの「もちっこやいて」をして、しょうゆやタバスコなどいろいろなものを付けてみんなで「変顔」をして遊びました。



そして、「やきいも やきいも」の手遊びをしました。みんなで手を大きく動かしてジャンケンをして楽しみました。



3つめのおはなしは、「牛方とやまんぼ」という冬のちょっぴりこわい昔話。牛方の三十郎が山道で出くわした「やまんぼ」から逃げて飛び込んだ家は、なんと「やまんぼ」のすみかでした。さあ、三十郎はどうやってこのピンチをのりこえるのか、という昔話です。おはなしの中で、塞の神の中心にある「囲炉裏」も出てきて、雰囲気をつぶり味わいながら聞いてもらいました。

そのあと、おはなしのろうそくをみんなで消して、「さよならあんころもち」の手遊びをしておしまいとなりました。

今回、お汁粉の配布終了に合わせて15分早めの開始でしたが、会場は出入り自由だったので、集まってきた子ども達だけでなく会場内の見学に入られた大人の方々もおはなしを楽しんで聞いていてもらえたようで、ゆったりとしたおはなし会となりました。

